

旬の食材を詰め合わせたゆめみちやんボックス
※詰め合わせ内容は募集時期に合わせたものとなります

SDGs (エスディー・ジー・ズ) とは？

SDGsとは、**Sustainable Development Goals** (持続可能な開発目標) の略称であり、国連が2016年～2030年までの15年間で達成しようと掲げた国際社会共通の目標です。「2030年にあるべき世界の姿」を叶えるために、17の目標と169のターゲット、244の指標から構成され、政府や民間、組織から個人まで、さまざまな取り組みが進められています。

【SDGsの五つの特徴】

- 普遍性** 先進国を含め、全ての国が行動
- 包摂性** 人間の安全保障の理念を反映し「誰一人取り残さない」
- 参画型** 全てのステークホルダーが役割を
- 統合性** 社会・経済・環境に統合的に取り組む
- 透明性** 定期的にフォローアップ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsの17の目標

SDGsには17の目標があります。どうして17もの目標があるのでしょうか？それは、広い範囲で取り組むべき課題があるからです。SDGsが目指す17の目標は①環境②社会③経済と、3つの分野に分けられます。地球環境を守りながら、全ての人が尊敬を持って生きられる社会と、誰もが豊かな暮らしを継続的に営むことができる経済を実現することで、誰一人取り残さない世界を目指すことがSDGsの目標です。



さまざまな目標の実現に欠かせないのが、図の一番上にある「17パートナーシップ」です。1～16までの目標は、それぞれでできることもありますが、ともに手を携えたりしなければ実現できない難しい問題ばかりです。そこで、国だけでなく、自治体、団体、企業、個人などとパートナーシップを結び、動いていこうということです。JAでは協同組合として、他の協同組合との連携にも早くから取り組んでおり、自治体や企業、NPOなどとの連携も広がっています。

SDGsって何だろう？

JAなるほど講座



力を合わせれば

実現できることが、世の中にはたくさんある。

人々が手を取り合い、支え合って、みんなの暮らしをより良くしていく仕組み。それが「協同組合」です。現在、世界の10億人を超える人々が、農業や暮らしなどの様々な分野の協同組合に参加して、力を合わせて活動しています。わたしたちJA（農業協同組合）も、そのひとつ。互いに助け合い、協力し合う心を大切に、地域や農業を支える事業・活動に取り組んでいます。一人ひとりが力を合わせることで、地域や農業を元気にし、協同の輪を広めています。



近年、新聞やテレビの中でよく聞くようになった「SDGs（エスディー・ジー・ズ）」という言葉。皆さまは、ご存知ですか？これは、国連で採択された世界共通の目標であり、世界各国、日本においても取り組みが進められています。しかし、自分たちには関係ない…なんて感じる人もいないのでしょうか？SDGsは、地球規模の課題から個人で意識しなければいけない身近なものまで、とても重要な問題を提起しています。キーワードは「誰一人取り残さない」。今回は、SDGsとJAの取り組みについてご紹介します。

実は似ている？ 協同組合の理念とSDGsの目標

JAは協同組合です。協同組合は、さまざまな問題をみんなで解決していく組織です。「一人は万人のために、万人は一人のために」は、協同組合の精神です。SDGsの掲げる「誰一人取り残さない」目標によく似ています。JAは農業と地域社会の持続的な発展に向けて、総合事業や地域活動など、さまざまな活動を進めており、SDGsの目標と密接に関わっていることを身近なこととして捉えることができます。

食農



管内の小学生を対象とした食農教育事業「夢未Kidsスクール」

金融



一人一人にあったライフサポートを提案

福祉



住みなれた地域で安心して暮らせるサポートを

営農



農作物の安定的な生産に向けた営農指導

販売



地域の買い物支援として運行する移動販売車「ゆめみちゃん号」

私たちにできることは？

SDGsの実現に向けて私たちは何をすればいいのでしょうか？まず第1歩として、SDGsを学び、そして行動してみましょう。また、普段の何気ない行動を振り返り、SDGsの目標の物差しで測ってみることからはじめてみましょう。

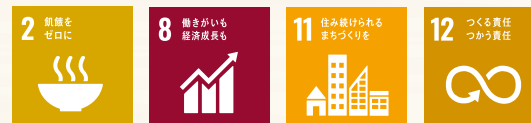
例えば、「地場農畜産物を積極的に買って食べる」「食べ物をムダにしない」「エコバックを使う」「ゴミは分別する」「使っていない電気を消す」など、できることはたくさんあります。一人一人の意識の変化や行動が大きな成果となり、SDGsのゴールに近づきます。

地産地消でSDGs

地産地消の取り組みは、環境に優しいだけでなく、生産者や消費者が互いに恵み合う関係を作り出し、持続可能な地域社会の構築にもつながります。JAあつぎの直売所にも多くの地場農畜産物があります。



直売所のココに注目！



キャンペーンに参加して地域農業を応援！

JAあつぎでは、地元で生産される旬の農産物や地域農業の魅力を県内外に広く発信していくと、広報誌・ホームページ・SNSを連動させた取り組みとして「あつぎの農業を食べて応援！キャンペーン」を実施しています。今回は、イチゴに関するエピソードを募集します。地元の食材を食べて、みんなで地域農業を応援しましょう。

＃あつぎのイチゴを食べよう2021

あつぎの農業を食べて応援！

期間 2021年2月1日～3月12日

キャンペーン

イチゴの料理やデザート、いちご狩りの思い出、おすすめの品種など、イチゴにまつわるエピソードを教えてください。「厚木産イチゴ」が当たるキャンペーン！Instagramやホームページ、ハガキで応募しよう！

あつぎのイチゴを食べて、地域農業をみんなで応援しよう！



あつぎの特産品

「厚木産イチゴ」を計15名様にプレゼント♪
(ホームページ5名、Instagram5名、ハガキ5名)



※写真はイメージです

詳しくは
JAあつぎの
ホームページを
チェック！



！check！



相川地区 うちうさのりばさ 内海 則行さん レポーター 伊藤 綾香さん

YouTubeでいちご園を訪問！

夢見る『ゆめみちゃんねる』

JAあつぎ公式YouTube「ゆめみちゃんねる」で管内のいちご園を訪れ、厚木産イチゴの魅力やレシピの紹介をしています！動画は、QRコードを読み込んでね！





夏野菜を上手に実らせよう♪

まだ寒い日が続いていますが、トマトやキュウリ、ナスなどの、夏に実を収穫する野菜の植え付けを心待ちにされている方も多いのではないのでしょうか。今回は、こうした夏野菜を植え付けるまでに準備しておきたいポイントや定植の際の注意点についてご紹介します。

POINT 1 生長に必要な土の量を知ろう

苗がよく育つためには、1株あたり最低40ℓの土が必要です。一般的なプランター(横幅65cm、深さ15cmほどのもの)だと、15ℓ程度の土しか入らないため、横幅40cm、奥行き25cm、深さ30cm以上あるものを用意するのがおすすめです。
※ミニトマトの場合は、土の量が半分ほどのプランターでも育てることができます

POINT 2 土の種類も要チェック!

土は、赤玉土(小粒)6割、腐葉土3割、完熟牛糞堆肥1割程度を混ぜたものを使うのがおすすめです。「買いそろえるのが大変…」という方は、JAあつぎグリーンセンターで販売している「花と野菜の園芸培養土」がおすすめです。

昨年使った土を再利用したい場合は、土の中に残っている根などを取り除き、熱湯を十分かけて消毒したものに、腐葉土や完熟牛糞堆肥を1割程度ずつ混ぜて使いましょう。



花と野菜の園芸培養土(25ℓ)

POINT 3 肥料をあげるタイミングや量を知ろう!

培養土には、あらかじめ最低限の肥料が入っていますので、土1ℓあたり粒状の化成肥料小さじ1杯程度を施します。土を再利用した場合などは、土1ℓあたり小さじ2杯程度を基肥としてよく混ぜます。

いずれも、1カ月程で肥料分は切れてしまうため、白い粒が残っていても、毎月1株あたり大さじ1杯程度を追肥として株の周りにばらまきます。



POINT 4 苗は遅霜の恐れがなくなってから購入しよう!

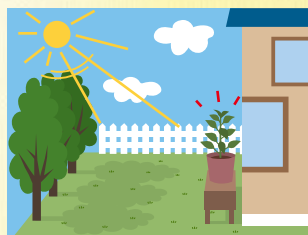
夏野菜は、一般的に最低気温15℃以上の比較的高温でよく育つため、遅霜の恐れが少なくなる4月末頃に苗を購入し、植え付けると順調に育ちます。年によっては、5月に入っても霜が降りることがあります。天気予報に注意して、霜注意報が出ていたら、ホットキャップというプラスチック製の苗を保護する資材を使い、寒さから守ってあげましょう。



苗帽子(ホットキャップ)

POINT 5 置き場所にも気を付けよう!

プランターの置き場所は、よく日の入るベランダか、日当たりの良い屋外にしましょう。



家庭菜園に必要な資材は「グリーンセンター」で全てそろいます! 野菜によって、育て方や仕立て方が異なりますので、お気軽にJA職員へお問い合わせください! また、管内の生産者が育てる野菜苗は、4月中旬頃から「夢未市」・「グリーンセンター」などで販売します!

旬のおすすめレシピ

葉ニンニク



葉ニンニクは、鳥獣被害に強く、JAあつぎ管内でも作付けが積極的に行われています。

葉ニンニクってどんな野菜?

ニンニクよりも香りが柔らかく、甘みのある葉ニンニク。中国では、回鍋肉や麻婆豆腐などにも使われるメジャーな食材です。栄養価が高く、疲労回復効果や抗菌作用が期待されるアリシンのほか、ビタミンCやβカロテン、ポリフェノールなどが含まれる健康維持にピッタリな食材です!

【材料】

葉ニンニク 2本
炒りごま 大さじ1
白みそ 大さじ1
酢 大さじ2
砂糖 大さじ1

【作り方】

- ①すり鉢で炒りごまをすり、白みそと酢、砂糖を加えて混ぜ合わせる。
- ②葉ニンニクを5cm間隔に切り、鍋で沸騰させたお湯で1分30秒茹で、ザルにあげ、さっと冷水をかけて軽く絞る。
- ③②を①に入れ、混ぜ合わせれば完成。



魚介や肉料理に相性抜群! 葉ニンニクのぬた



アレンジ①

野菜と豚肉の炒めものにかけて食べると、さらにスタミナアップ! おすすめです!



アレンジ②

バゲットにタマネギのスライスとチーズ、ぬたを載せて焼くと絶品!

プレゼントクイズ どなたでもご応募いただけます

問題 国連が掲げる国際社会共通の目標である「持続可能な開発目標」の略称は何でしょう?

ヒント ○○○○(英語4文字)

応募方法 ハガキまたはFAX、ホームページにて

①～⑦の項目を記載し、ご応募ください。

■ハガキ/右記の通り

■FAX/046-223-8814

■ホームページ/

<https://www.ja-atsugi.or.jp/form/greenpage/>

締め切り 2021年3月26日(金)

QRコードを読みとるとホームページの応募フォームが表示されます。



正解者の中からプレゼント

正解者の中から抽選で10名の方に夢未市等で使える商品券1,000円分をプレゼント! 当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は、抽選、賞品発送に利用するほか、個人を特定できない統計情報としたうえで、マーケティング等に利用させていただきます。



- ①答え
- ②郵便番号・住所
- ③氏名
- ④年齢
- ⑤電話番号
- ⑥当広報紙で取り上げたい情報
- ⑦当広報紙へのご感想やJAに対するご意見・ご要望

※①～⑦すべてをご記入ください

JAあつぎの直売所ガイド



夢未市

厚木市温水255番地
☎046-290-0141
営業時間 午前9時30分～午後5時
休業日 毎月第3水曜日
(3月・9月は第2水曜日
8月・12月・1月は除く)
および1月1日～4日
※ジェラートコーナーは当面の間、午後3時までの営業となります。

グリーンセンター

厚木市及川1161-1
☎046-241-6150
営業時間 午前9時～午後5時
※精米機は午後4時30分まで
休業日 毎月第2水曜日
(1月・5月は除く)、
12月31日～1月6日

キリトリセン

あつぎせせらぎ米
(4.5kg精米)



特別割引券

1,950円→1,700円(税込)

券を使う方に質問です!

夢未市にはどのくらいの頻度で来店されますか?

A.週3日以上 B.週1～2回 C.月2回程度 D.月1回
E.3カ月に1回 F.半年に1回 G.1年に1回 H.今回が初めて

2021年3月1日～31日まで有効(但し土日・休業日を除く)
※夢未市・グリーンセンターでご利用いただけます
※1会計につき本券1枚限り有効(コピー不可)

※状況により営業時間が変更になる可能性があります

イベント情報など詳しい内容はJAあつぎホームページから夢未市のページでご確認ください

JAあつぎ

検索